

## 歴史的能舞台を生かしたまちづくり —「旧岡崎家能舞台を生かす会」の活動

大塚英典 公益社団法人 日本都市計画学会 北海道支部 幹事

### 1. はじめに

北海道支部では、平成28年9月17日に、北海道唯一の歴史的能舞台である旧岡崎家能舞台(小樽市内)を見学し、セミナーを開催しました。この能舞台は、「旧岡崎家能舞台を生かす会」により維持保全されています。当会は、能楽堂としては未整備状態にある能舞台の再建を目指し、能楽の啓発・普及活動を行うと共に、まちづくりに貢献することを目的としたNPO団体です。

セミナーでは、能舞台の歴史、小樽のまちとの関係、会の活動について三ツ江匡弘会長に講演していただき、「文化遺産を活用したまちづくり」について議論しました。

今回はこの能舞台と会の活動について紹介します。



写真1 能舞台で講演する三ツ江匡弘会長

### 2. 小樽の街並みをつくった豪商たちが親しんだ能舞台

大正15年に豪商・岡崎謙氏が能楽堂を併設した自邸を建設しました。能楽堂の能舞台は、江戸末期に整えられた格式の最上級の様式を用い、木材は九州や佐渡から取り寄せるなど、贅を尽くして造られました。



写真2 能舞台正面

この能舞台では昭和初期に能楽会のスター達が演能し、北海道に能楽を普及する役目を果たしました。氏の没後、昭和29年に能舞台部分が小樽市に寄贈され、昭和36年、公会堂に併設される形で現在地に移設されました。その後、小樽の歴史を語る貴重な文化財として、小樽市指定歴史的建造物となり、現在に至っています。楽屋、見所(観客席)などが不備で、能楽堂としては未整備な状態にあります。舞台各所に傷みがあり、多くの問題を抱えています。

### 3. 「旧岡崎家能舞台を生かす会」の活動

平成19年に発足。岡崎家から寄贈された能舞台や能装束などの資料と小樽にまつわる能楽に関する情報の調査・研究、能舞台を生かした能楽の普及・発展に努め、それらの活動の中から旧岡崎家能舞台再建の道を探ろうと考えています。将来的にはこの能舞台を中心に据えた、本来の機能を備える能楽堂を整備再生することを目的としています。また、一連の活動によって、地域コミュニティの再生と地域文化興隆の一翼を担い、まちづくりに貢献することを目指しています。主な啓発・普及活動は、「小樽能楽講座」、「能楽体感ゼミナール」(団体向け入門講座)、「こども能楽教室」(学校訪問授業)、「おたる狂言堂」、「おたる市民能」(市民による能楽公演)などです。



写真3 能楽体感ゼミナールの様子

### 4. おわりに

「旧岡崎家能舞台を生かす会」の方々は、伝統芸能・能楽の保護継承などの活動を通して小樽の歴史や文化の伝承、地域の魅力向上に貢献されています。多くの方々に、能舞台と能楽を体験していただきたいと思います。